

愛知・岐阜・石川・福井の旅・・・体験記。(長文です)

この度、インテリアプランナー北陸大会に便乗して4県を 勢い で駆け巡りました。

どこもここも一日ずつの滞在です。(それぞれ二日は欲しかった・・・)

北陸大会は4/11・12の2日間でしたが、それよりも2日早い9日に千歳から飛び立ち定刻よりも10分早い9:50にはセントレア国際空港に到着。初日は名古屋を満喫?です。

到着した時には名古屋の取引先の方がお迎えに待機してくれて、私の行きたい所を一応くまなく案内していただきました。その内容も現地の人に言わせれば「無謀」の一言に尽きるのだと思いますが、できるだけ希望を叶えるべく一日車での案内でした。(JR移動は余計に時間が掛かるとの事)

これがお姫様旅行と言われるきっかけです。(笑)

希望した先は、名古屋の取引先3軒(今回の案内人も含む)と有楽苑(ここだけは絶対!)・犬山城・明治村・名古屋城です。

顔を合わせるなり、挨拶もそこそこに「時間がないからまずは移動しましょう!」と先導され車に乗り込み、今日のスケジュールは・・・と説明を聞きましたが、私としては「お任せします」としか言いようがなくすっかり甘えてきました。

名古屋へ来たならここは絶対に見て下さい。と言われ向かった先は輸入された丸太の貯木場です。

広大な敷地に僅かな丸太。。これが今現在の日本の在庫です。と言われた瞬間、こんなにも枯渇しているとは思ってもいなかったためショックを受けましたが、反面今ある資源は大切にしないといけない、と実感しました。特に長くて太い丸太は本当に見当たらない・・・入手困難な状況で材の安売りは出来ない!とも思いました。



アフリカ材の山、と言うより列と言うほうが適当なほど少ない。こんな列が5列ほどしかない。

続いて向かった先が、これらの丸太を製材する木工場です。

木心庵に在庫している、長くて太い材はここで製材してもらいました。(11m×Φ1.2m)

名古屋でも木工場が減少していく中、ここは生き残る!といわれるほどの会社です。

工場へ一歩足を踏み入れてその言われを目の当たりにし実感しました。

材料(丸太)の扱いが違う!!それを見るなり開口一番「丸太の扱いが良いですね~!!」と案内の人に歓喜の声を上げてしまいました。それが嬉しくて気分も上々です。

何が違うか?とても簡単で単純なことと思うのですが、それが身に付いていないとなかなか出来ないらしいのですが・・・

丸太を製材している途中でどうしてもしなくてはならないのが、丸太をひっくり返すという作業です。短く・そう太くない丸太は「かけや」を使って人力でも返せるのですが・・・長くて太いとそうは行きません!

この返すという作業の時に電動のクレーンを使います。と言うことは・・・丸太を吊るための玉掛けが必要です。ここがポイント!!クリップのように鉄の爪で挟み込むのか、ワイヤーロープを巻き付けるのか、この二つはほとんどの木工場で使う普通の道具です。と言うことは・・・鉄の爪が差されれば当然 傷 になります。ワイヤーロープも重量が大きければめり込んで 傷 になる。

今まで製材してきた木工場は鉄の爪をガツン・ガツンと打ち込みます。それを打ち込まれた時は思わず・・・目を背けてしまいます・・・せっかくの材に傷が付く~。(泣)爪掛けも一回で済めばまだ軽傷ですが、掛け方が悪いと何度も何度も・・・その度に 泣・泣・泣 です。心の中では、何やってるんだ下手くそ~。と叫んで

ます。(笑・でも笑いごとではないです。)

しかし、この木工場は違っていました！布のバンドで吊っているんです。このバンドを見て歓喜の悲鳴を上げてしまったわけです。このあと、ここの専務さんとお話をしましたがやはり「材に対する思い」からこの方法に変更したそうです。でもまだまだ職工の身に付いていないので、ちょっと目を離すと昔の癖がすぐに出る。と笑っていました。



バンドで吊られる樫：荷主さんがこれから何をどうとるか悩んでいました。



マストが5本。長材を挽くには必要不可欠。

しかしこの専務さん顔は老け顔だけど何歳なのかしら？と思って聞いてみると・・・なんと43歳！

若い！！木工場の閉鎖や職工の高齢化・・・先の暗い話しか聞こえてこない業界にこんなに若くて頼もしい人が居たなんて！！これもまた嬉しく、気分上々♪天気も上々♪来て良かった！と思った瞬間でした。話もこれから花が咲きそうな時に案内の人に「さあ、水島さん次へ・・・」との号令が。丁度昼食の時間になったので退散。案内の方に導かれるまま昼食へ。この昼食も、何を食べたいですか？とリクエストを聞きたいところですが時間がないのでこの近所で済ませるもので勘弁して下さいね。

と言う訳で、近所の喫茶店でパスタランチです。(美味しかった！)

でも傑作なのが、時間がないと言いながらランチしながらのお喋りに一番時間が掛ったような？

案内の人の倉庫など在庫を見せてもらいながら、3軒目の取引先へ・・・ここに着いたのが14:05で水島さん、僕はちょっと用足しに離れますけどお迎えは14:30で良いですね！と念押し。

ここは、建材屋さんみたいな所だから長居は無用なのでOK!です。と言う訳で14:30にお迎え。そして、ここからが観光の始まり！！いざ犬山城へ！！その途中案内人の別倉庫を見せてもらい、有楽苑到着が16:30。意外と遠かった！！閉門まであと30分で見れました。国宝茶室「如庵」

おまけにお茶を一服いただいて・・・写真を撮っていてふと気がついたことが一つ！

中には入れてもらえなし、覗き見れるのは一ヶ所だけ・・・そこから撮影するアングルって結局？「本の写真と同じだ～！」と言うことです。泣



如庵内部



突き上げ窓と扁額



後ろに犬山城



有楽苑の庭

さあ、次は犬山城へ！！でも残念もう閉門時間を過ぎていましたが、オメオメと帰るわけには行かない！案内の人に、中は入れなくても「来たよ〜！」の記念？写真は撮りたいですとお願いし、じゃあ水島さん明治村ももう閉まっているので「来たよ〜」の写真を撮って戻りますか。との言葉に甘え写真撮影だけ。笑うが良いか？泣くが良いか？今度は、もっと時間を取って来てください！と慰められ・・・しかし、絶対の目的は果たせたのでよし！としました。

さてさて、夕食はどうしようかな？と思っているところへ・・・案内の方が、夕食もご一緒しましょう！その前に、事務所兼自宅へ行って写真をプリントアウトしてあげます。（案内人さんのカメラ撮影分）それから、僕の奥さんも一緒に夕飯にしましょう！と言う訳で、ご自宅へ・・・

奥様は、着物の着付けの先生をしていらして到着した時は 和服 でした。この日が教室の日で帰宅して間もなかったようです。さてさてお宅拝見！建物は和風ではなく洋風・・・

さすが外材を現地買い付け、輸入・製材・販売しているだけのことはある！チークづくしです。

また、居間にはローズの丸太から彫り出した・・・象さんが1頭・・・重さ2トンもあるそうです。

さて、写真も出来上がり夕食へ・・・あっとその前にチェックインだけしなくっちゃ！

フロントに荷物を部屋に運んでもらいたい出発！その道中に発見したのが、モード学園の螺旋の建物・・・

そしてお店に到着。相手が水島さんなので出来るだけ無垢材を使っているお店を選びました。とのこと。そんなところまで配慮していただいて・・・

確かに、床材・テーブル・カウンターは無垢材、壁も塗り壁。お料理も美味しく、ビールも美味しい！水島さん遠慮しないで食べたいものがあったら注文してくださいね。のお言葉・・・

そういえば、名古屋名物を食べてない！！外郎・きし麺・味噌煮込み・味噌カツ。ところで、味噌カツってしょっぱいイメージなんですけど実際はどうなんですか？しょっぱいと言うよりは「甘い」ですよ！では、味噌カツをいただきます。テーブルに到着・・・

そうだ、水島さんちょっと待って！まず、現地の方がここの味見をしますから。現地の人＝奥様

奥様が試食・・・どうですか？ソースが少なめのせいかな？本場の味よりは少し上品めで食べやすいです。とのこと・・・では、いただきます！ん〜〜美味しい〜〜！癖になりそうですね。

味噌カツは結構癖になりますよ。笑

なんだか、初めて会った人とは思えないほどご両人と意気投合！楽しいお食事でした。

結局、この日は半日以上もお付き合いいただきました。

実は、今回の旅に訪問した取引先は電話だけのやり取りで実際に会ったのは初めての人ばかりです。

翌日に何う先も、初対面なのです。（笑？驚？え〜〜っ！！）

続いて翌10日。この日の予定は岐阜の檜屋さん訪問、その後飛騨高山で河村会長、土井さん、吉本さんと合流しもろもろ見学です。

JRを利用し岐阜の恵那駅まで移動。到着8:45そこへ檜屋さんがお迎えに来てくれました。

何と言っても陸の孤島・・・そこまでのバスって？ないそうです。笑

まずは、取りあえずのご挨拶。いざ車へ・・・「いや～、本当に山の中なので驚かれますよ！」とのこと。いえいえ覚悟はしてますので平気です。笑

その人は、立体マスクをしている??花粉症ですか?そうなんです、すいませんこんな調子で・・・花粉って、檜の花粉ですか?そうなんです。檜屋なのに情けない。。笑

こちらの工場は、裏木曾から少し外れた位置というが???とにかく山の中です。

木曾の五木・・・木曾檜・榎・高野槇・ヒバ・ネズコ・・・

道すがら眼に映る木々は東濃檜。間伐・枝打ち、手入れがされていて気持ちよさそうに立ち並ぶ。

また時折、プ～んと檜の香りが漂うんです。あ!檜の香りがする。と言うと、本当ですね。工場があるわけではないのにどうしてかな?なんて言っていました。

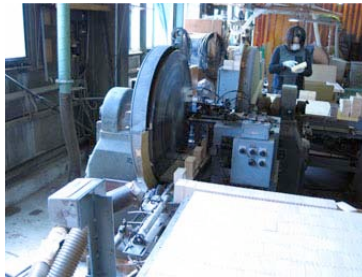
檜の香りに包まれながら走行・・・途中、皮を剥かれた立ち木を発見!あれは、検皮用に剥かれたのですか?そうです。その検皮も今はあまり売れません。。表皮は剥いても甘皮はちゃんと残ってる。これも職人技ですよ。

木を枯らさないんだから・・・そんな職人が生き残れない現状が何だか寂しく思えました。

そして、本当に山の中の工場に到着・・・神社・仏閣用に製材された材、住宅用に製材された材が所狭しと天乾され立ち並ぶ、かと思えば工場内では小さな酒枘が作られて・・・ここは、檜の原木を余すところなく加工・製作している。木心庵としたら製材で出る副材(切り落としの残り材)があれば、仏像の木彫り材などに買いたいところでしたが、それが無い!残念・・・とは思っても、原木を余すところなく使い切る姿勢・思いは共感できる所です。これまた気分上々!今日のお天気も上々!!でした。先代社長さんもいらして昔の話も聞かせてもらい・・・さ～!時間です。



天乾中の檜



酒のマスを製作中

当初、高山まで送っていただけの予定でしたがその予定も変わり、下呂駅まで送ってくださるとのこと。下呂へ向かいながらも檜の香りと木々に囲まれいい気分♪そこへ、土井さんからメールが・・・

予定より一時間早く高山へ到着!とのこと。んん?もしかして、私がこれから乗ろうとしている列車に居るのかな?メール返信、私はこれから下呂駅で列車に乗ります。すると・・・電話が鳴り。

土井さんから。今から下呂駅で乗るの?私たちも下呂駅に着くところ!何号車ですか?一号車。

と言う訳で、駅で檜屋さんにお礼を言い。お土産まで持たせていただきお別れ。

駅員さんに一号車に乗りたいんですけど・・・ではここに停車しますのでこの場所にいて下さい。と親切に教えて頂き 乗車!!ぎゃ～、いたいた!!でも凄い偶然・・・と驚き、ここから一転??至れり尽くせりのお姫様旅行から、強行の旅が幕開けです。

高山への車中「臥龍桜(がりゅうざくら)」がアナウンスされ列車も徐行運転。残念ながら花は咲いていませんでしたが、なんじゃ、こりゃ?と思える格好。龍が地に臥しているように見える?確かに見える!そんな変な格好でした。(笑)

そうそう!お昼御飯がまだだったので車内弁当を買い慌てて完食。

あっという間に高山到着。

駅前から旅館の送迎バスに乗り込みまずはお宿へ、玄関先で荷物を預け休む間もなく(時間がないから休んでいる場合ではない!)速攻で見学開始!吉本さんと私はそれぞれ「ここには行っておきたい!!」という場所があり、位置を確認すると方向が違うので途中2班に別れることになりました。まずは、4人揃って旅館の並びにあ

る高山陣屋へ。建物内を見学しながら、あらこの釘隠しは、うさぎちゃん？とか、部屋の三方は長押があるけど縁側との間境は差し鴨居で長押がない！など土井さんと二人であれやこれや見ていると・・・何やら、入れられるととても窮屈そうな籠、その脇には平板状の石が置かれてある。ここは「吟味所」だ！遠山の金さんじゃあないけど、面白ささせるための拷問？所なんだ！！でも、あんな石を乗せられたら重くて・痛くて耐えられないわよね。などと見たりお喋りしたり・・・当然の如く遅れをとり、やっと蔵へと辿り着いたら外には河村会長と吉本さんの姿が、先へ行っていて下さ～い。と言う訳でここから2班に別れました。分かれて正解！待っていてもらったとしたら、まだまだしばらく待たせる事になっていました。蔵の中を見て外へ出られるまでどれくらいの時間が掛ったのか？覚えてません。

屋根を葺いた模型を見つければ、うわ～。凄い！こんな曲線が出せるなんて！！などと声を上げ・・・流石の職人技ですね。と感心し、建物全体よりも職人技の部分部分ばかり見ているのだからなんだか可らしい・・・それもそのはず。あとで画像を見ても全体像よりも部分画像ばかりです。これって一体何だっけ？（笑）



うさぎの釘隠し。何故にうさぎ？



乗ってみたいくなる？籠



吟味所



柿葺きの屋根。軒先の筋が入られた板の意味は？

やっとの思いで？外へ出て中橋（朱色の欄干）を渡り観光ルートの古い街並みをブラブラ散策しながら途中お茶をして、またブラブラしながらタクシーを拾うべく駅へ戻りました。流しのタクシーなんていなかった。（笑）次は、車で15分くらい離れた〇〇〇ビレッジと言うところへ向かいました。ここはホテルやレストランを運営しているほか、〇塾という木工の学校？も運営していてその熟生達が作った小物や家具を販売しているところです。小物はお土産屋さんにも卸されていますが私が一番興味深く見たかったのは、家具類を全無垢で製作していることは知っていたけどどんな細工をして作られているのか？直接見ないと分からない部分を見たくて行きたかった場所です。塾を開いているくらいだからちゃんとした作りなのか？最近、無垢の家具と言っても「本当にこれでいいの？」という作りばかりの中で、興味津津。

そこへ向かう車中、運転手さんに帰りのタクシーって拾えるところですか？と尋ねると「いや～、タクシーはいないね」のお返事。想像はしていたけれどやっぱりか～。と言うわけで待っていて欲しいとお願いし、途中何やら金色に輝く大きな屋根を発見！！運転手さんあれって何の建物ですか？あ～、あの金キラ金の屋根かい、あれは〇光教の総本山だよ。毎月のように信者の人が沢山来るけど、今年は〇十周年記念とかで高山の宿泊場は信者で一杯になるよ。

それにしても、でっかい！金キラ金の屋根がでっかい分建物も大きい・・・

そうこうしている間に車は国道から外れ 森の中 へ・・・途中、ここに某有名俳優が住んでいたという広い敷

地に自然味あふれる建物。これは、今到着しようとしている所のオーナーの所有地、建物を貸していて、今は空き家とのこと。そこで、目的地に到着。いざ！見学開始！！

ショールームを見学しながら、あれやこれやと一般の人が見ないような所を見る！会話も専門用語・・・店番の人も気が付かないはずもなく。「インテリア関係の人ですか？」そうです。分かります？「普通の人が見ない所を見てますから分かります。」（笑）「良かったらそのテーブルも引っ繰り返して見ていいですよ。」と言われれば見ないはずもなく。引っ繰り返して脚をたたみながら、一体どんな細工をしてるんだ？と納得いくまでマジマジと・・・他にもテーブル天板の裏にはちゃんと吸い付き棧が仕込まれている。（納得）しかし、納得行かないことが一つ！天板の中を剥ぐのは良いのだけれどその時の「木の使い方」・・・そこで聞いてみた！天板を剥ぐ時の基本は表裏・元末を返すのではなく綺麗な面を重視ですか？すると「そうです。」と言うお返事が・・・木の使い方の基本はそれほど重視していないんだ・・・と言う感想。それから、これらの木材は丸太で買って製材してるんですか？「いいえ、必要なものを調達してます。」それは旭川の木材屋さんによって送ってもらっているんですか？「そうです。」・・・丸太で調達していると思っていただけに残念・・・結構やり手の家具屋さんと思っていたのですが、ちょっと残念・・・

ここでのエピソード・・・私達が業界人だと決定付けた一言・・・「わ～、この引き出し、中の箱も無垢材で出来てる～。ベニヤじゃないんだー」という土井さんの歓喜の声でした。（笑）

ここに、どれくらいの時間いたのでしょうか？そろそろ閉店時間になったので帰路へ・・・

運転手さんに、宿泊は何処なの？と聞かれ「平野屋さんです。」平野さんのどっち？本館かい？

本館じゃあない方です。花兆庵の方・・・「ああ、そっちかい。そこは団体さんは入れない所だからね、その分高いんだよ～。」ほ～っほっほっ！今回の旅で奮発しただけの甲斐あり！ちょっと優越感！！

その道中運転手さんに質問。東山遊歩道（お寺や神社が18も建ち並ぶ東山寺院群）は結構距離がありますか？

（地図では遠く感じない。笑）「結構あるよ、一時間くらいかな？」ギョエ～～～！そんなにあるんですか。。。足が痛くて歩くの嫌だ～・・・と駄々をこね。結局、宿から近いお寺へ・・・運転手さんに帰り道を教えてもらいながら向かう途中。そうだ！みたらし団子を食べてない！！

運転手さん、団子屋さんで何時ころから開いてますか？「朝は9時くらいからやってると思うよ。」

9時か～。バスの出発がそれより早いから今食べておかないと無理かな？でも、今から食べると夕食が・・・

一本買って半分ずつしようか？などと相談していると、運転手さんが「なんも、こんな小さな団子が5個付いてるだけだから一本ずつ食べたって腹の足しにもならないから大丈夫だよ！（笑）」と教えられ、宿へ戻る途中一本ずつ完食。運転手さんの言うとおりに！！素朴なお醤油味でした。予定より早く宿へ戻り休憩しながら別班の二人を待つ・・・その間、仲居さんが色々説明してくれて・・・利用できるお風呂は、3か所ある！利用できる時間もそれぞれバラバラ、そこで土井さんと二人作戦会議、どのように3か所制覇するか！？結局、2ヶ所のみ利用し3か所目は？河村会長と土井さんが除き見・・・をしました。

4人全員揃ったところでいよいよお食事タイム！！「本陣平野屋 花兆庵」の飛騨牛付き懐石料理です。卯月御献立・・・食前酒・座付・前菜・椀物・造り・蓋物・焼肴・焜炉（飛騨牛！）・御飯・香の物・汁・水菓子とお食事タイムに約90分。贅沢極まりない！飛騨牛には生産者名と牛の識別番号まで記され・・・ともかく、美味しかった♪全品写真を撮りました。（笑）ご覧ください。





食事の後、いざ！お風呂・・・ホテルの向かいの建物が宿泊客女性専用のお風呂でエステもあり！女性専用だからかな？入り口外には男性のホテルマンがガードしてる！と思ったのですが、出る時には居なかったので違ったかな？？湯上りに近くをお散歩、人気のない古い町並みを見て歩き中橋で写真を撮りホテルへ・・・
 ※中橋で撮影したお姉様たちの湯上りスピン写真は載せると叱られそうなので、夜道を徘徊？する後ろ姿でご勘弁を・・・



お姉様軍団の後ろ姿

翌朝も5時起床～朝風呂に、7時から朝食～朝市へ、8：30にはホテル出発駅前から8：50発の白川郷行乗車。ホテル側で駅まで送ってもらえるとのこと・・・朝市から戻るとホテル前にはベンツが停車。なんと！駅までの車がこれでした・・・またまた優越感！ホテルの料金も高いとだけ聞いていて実際の宿泊料金は精算するまで気にしていなかったのですが、想像より安かった！北海道のお高いと言われるホテルや旅館の金額を想像していたのでビックリ！！です。



花兆庵の朝食：朴葉みそでご飯をおかわりしました。

白川郷行のバスを待ちその前に！今回の高山で一番「みたらし団子」と騒いでいた？吉本さんがやっとみたらし団子を手にした時でもありました。(笑)

私達以外の乗車客を見ると1/3は外国の人たちでした。結構多いのにビックリです。

バスに揺られること1時間弱で白川郷に到着。ここからタクシーを利用して白川郷・五箇山を見ながら金沢へ。白川郷では、道の狭さや観光客の数から行くと、車で進入していくのが気が引けそうな感じでしたがさすが現地のタクシードライバー。そんなのお構いなし！と言うよりは車で進入しても良いんですって。知らないで遠慮したくなるどころでした。

まず見た建物は「神田家」で、ここは唯一今現在も囲炉裏で薪を焚いているところだそうです。そのおかげで、どれだけ燻されて煙たいのか・・・体験！眼はショボショボで開けてられない。

きっと、交流会でも臭かったのでは？と思います。

その昔、白川郷・五箇山は火薬の原料「煙硝」を生産していて、その材料がヒエやヨモギに蚕糞を混ぜた土に人

尿を撒いて作ったそうです。その性能は、舶来ものには及ばなく次第に輸入品に変わっていったとか・・・成分に人尿！納得？の性能？

その後、白川郷を一望できる展望台へ。写真で見る景色が広がっていました。

そしてもう一軒「和田家」を見学し五箇山へ。

この茅葺き屋根の葺き替え費用って？片面の屋根の材料費に 1000 万円掛かるそうです。工賃は？？地元の人とボランティアの協力で作業されているとのこと。維持管理も大変だ・・・



白川郷神田家：煙がモクモク



神田家正面：見事に大きな屋根

五箇山ではまず、(小さな) 山の中腹？に残る流刑所へ。プチ登山をして建物内を覗く河村会長が悲鳴を上げた！？ビックリした～。一同？？？覗くと中にはお侍さんが座っている！！悲鳴を上げるのも納得。でもこのお侍さん、当時の人の実物大だとしたら「妙に顔が長い」。これって本当に実物？それとも、このお侍さんのモデルになった人が顔の長い人？などと一人悩む・・・ま、いいか！



下の小さな穴を覗いて悲鳴が・・・

それから五箇山の村上家（築 400 年）を拝見。ここのおじさんが囲炉裏に薪をくべながら五箇山の昔を語ってくれ、次に「こきりこ節」を聞かせてくれた。日本最古の民謡と言われているようだけど元は遊び歌だったとのこと。その歌詞にある「デデレコデン」が印象深い。一体どういう意味？あとで調べてみると、言葉ではなく「太鼓の音」を発したものらしい。

途中、外国の人が見学に入ってきた。するとこのおじさん、店番のおばちゃんに窓を開けるように指示をした・・・なんでも外国の人は煙に燻されるのが苦手なんだそうです。煙を出すための換気でした。

建物全体を外から眺めた時に思ったこと・・・白川郷の建物は大きかったけど五箇山の建物は意外とこじんまりしていて「雪ん子」が出てきそうな雰囲気でした。



お茶をいただきながらおじさん（右）のお話を聞く



雪ん子のおうち？

そして、金沢へ向け出発！初めにホテルへ行き荷物を預け 21 世紀美術館へ。

さっきまでの素朴さから一気に都会の感じず。

兼六園の桜の見事なこと！さすがに道路も渋滞です。歩いた方が早いかな？と近くで下車。ここで運転手さんともお別れ・・・そして、大会に参加するべく河村会長とも一時お別れ・・・残った三人で見学開始！！

まずは、21 世紀美術館。人の泳げないプール？を上から覗き、下階にいる人を見る。逆に下からも見られてました。(笑)そして・・・お腹がすいた！！美術館内にあったレストランでお食事！でも空き待ちで並んでいる・・・しょうがない待つとする事に・・・でも黙って待っているのも何だか勿体無いので、そのレストランから近いお茶室を見学しに外へ。(この間、吉本さんが連絡係でその場に待機。)

行ったそこは、これまた本に載っている「立礼席：りゅうれいせき(椅子に座ってのお茶席)の松涛庵：しょうとうあん」ではあ～りませんか！！美術館周りにお茶室がいくつもあることは知っていたけど、たまたま行った先がこことは・・・しかも入場無料です！あっちやこっちを見ていると、吉本さんから電話が・・・席が空きますよ～。意外と早かった・・・急ぎ足でレストランへ戻りお食事。食事をしながら作戦会議・・・残り少ない時間どう見て歩こうか？予約時間と閉館時間から順番を決め、移動はすべてタクシーを使おう！と言う事に。

食事の後、予約をしていた忍者寺へ。

かなりの見学者が居る中で、その人々を何班かに分けて案内人さんの説明を聞きながら見て歩く。

確かに！はぐれると迷子になる。床板をはぐれば逃げ道の階段が現れ、押入れを開ければ階段が現れ・・・

まさしく忍者を思わせる造りになっている。是非一度、平面図や展開図を見てみたい！という土井さんの感想でした。次に向かったのが成翼閣。

私の目的は、ここにあるお茶室「清香軒」でしたが残念ながらお茶室使用の予約が入っていて使用中のため見れません。とのこと・・・お茶室はあきらめました。

建物内を見学、鶯張りの廊下、各部屋に名前が付けられていてその名前の出所？が障子の腰板に描かれている「絵」から付けられている。この時は丁度お雛様特別展示が催されていて、年代を感じる古いものや、ちょっと怖いもの、可愛らしいもの様々なお雛様が展示されている中、二階の網代の間でなんと！野村さんを発見！！「そっくり～！」と大ウケ・・・ちょんまげを梳いた(落ち武者風)髪型の男の子の人形がガラスの人形ケースに入っている。なんでも、昔火事になった際このお人形だけが焼けずに残ったものだそうです。群青の間の鮮やかな青。忍者寺と成翼閣は撮影禁止だったので、写真がないのが残念です。続いて、武家屋敷・野村家・・・その前に！兼六園にも足を踏み入れないと！！

公園内は人・人・人の人ばかり。ちょっと見失うとすぐにはぐれてしまいそうなほどでした。

人の多さもビックリですが、それより何より公園を囲むように咲き誇る桜の見事なこと！



兼六園の桜

静内の名所もさることながら、兼六園の桜は見事！！見上げるのではなく見下ろす印象でした。特に今年は何年かに一度の当たり年？地元ドライバーのおばちゃんも感心するほど見事な咲きっぷりだそうです。園内の人混みを掻き分けるように通過し次は、武家屋敷・野村家へ。

庭を見るとそこに池がありその中には、見事なほど丸々と太りに太った 鯉？？？そうだ、鯉！が泳いでいる。一体どれくらいの年月でここまで立派に？大きくなったのか。(笑)



どいつもこいつもデカイ！

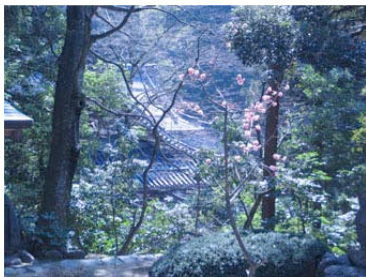
ここまでで見たかった建物は無事制覇！！あとは交流会に遅れないようにのんびりと？と言っても、のんびりしている時間もない中、一軒のお茶屋さんへ。おばあちゃんお手製のお菓子と抹茶を一服し、それ出発。ホテルへ戻って準備して交流会会場へ・・・

ここから先は野村さんの報告に続く？です。

この他の画像



日航金沢の朝食



永平寺



煤払いの竹と修行僧



永平寺御用達のお店：精進料理（塩辛かった）



永平寺の虹梁：3D化した彫刻が凄い！

この旅一番の衝撃建造物！！・・・大滝神社



大滝神社：唐破風と虹梁・蛙股・懸魚。どれもこれも3D



口が開いたまま？何も言えずに息を呑みました。スッ・・・凄い！
現代において、こんなことが出来る人・・・いや、技術を継承している人っているのかな？
むか～し昔の人は凄かった。

体験記・・・おしまい。